

発行責任者：富士根南地区社会福祉協議会



シンボルマーク

根南福祉だより

47号

(広報部)

令和4年度事業の進捗状況

企画委員長
木ノ内 高嘉

富士根南地区社協では、地域に住む誰もが、住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを目指して、活動を展開しております。

少子高齢化や核家族化により、地域のつながりが希薄となり、住民同士の相互支援機能（向こう三軒両隣機能）が低下し、福祉課題を抱える人が増えている現状があります。こうした福祉ニーズに的確に対応するためには行政の取り組みだけではなく、私たちが福祉を身近な問題としてとらえ、地域福祉の担い手として、何らかな支援を必要とする人々を地域で支えあい、見守ることが大切な役目であります。

こうした観点から、6月に出席福祉講座を大岩3区の要望を受け開催しました。富士根南地区社協の概要、地域の福祉活動における向こう三軒両隣関係の重要性、他区の福祉活動の状況を説明しました。大勢の参加を得て、高齢化社会のなかの地域の福祉活動の重要性を理解していただきました。



出席福祉講座大岩3区

7月には推進委員研修会を開催しました。上小泉区、大岩3区、杉田5区の福祉活動の実践報告を行い、これを参考に地域の課題についてどのような対応ができるか、グループ討議を行いました。参加者は、地域の福祉課題について、活発に意見を出し合い、より良い地域にするための方策を話し合いました。



推進委員研修会グループ発表

10月には三世代交流グラウンドゴルフ大会を開催しました。雨模様の中でしたが申込者のほとんどの方に参加していただき、コロナ禍で、集団活動の機会の少ない中、この大会を通して、三世代間・地域住民同志の交流や親睦を図り、繋がりを深めることができました。

地域福祉の推進母体であるネットワーク委員会では、各区のネットワーク活動の報告や課題への取り組みが報告され、小泉5区では生活支援活動の一環としてフードドライブ（食品ロス減少活動）が新しく始まりました。さらに、杉田3区・4区における交通移動手段としてのコミュニティカーシェアリングの報告、すでに住民の困りごとと支援を実施している「柚野・稲子応援隊」の活動報告など地域福祉の実践事例を学びました。今後の小地域福祉活動に活かしてまいります。



「柚野・稲子応援隊」講話

本年度の事業計画にある生活支援事業は、市社協の地域福祉活動計画と整合性をとり両者を合わせて実施していくことにしました。これは高齢の皆さんのちょっとした困りごと（ゴミ出し、草取り、庭木の手入れ、買い物、通院の送迎など）を地域のボランティアができる範囲でお手伝いする助け合い活動です。現在、組織の体制、支援内容などを計画中ですが、実施に当たっては地域の支援員（ボランティア）が必要となりますので可能な方は、この活動への参加をお願いします。

グラウンドゴルフ大会

三世代交流部
部長 村松真由美

10月10日根南小のグラウンドで「三世代交流グラウンドゴルフ大会」が行われました。

10月10日と言えば晴れの特異日と言われていますが、当日は朝から小雨。グラウンドの状態は悪くなかったのですが、小雨決行として準備を始めました。この天候の中どのくらいの人に来てくれるか不安でしたが、65名の方が集まってくれました。開会式を始める頃には雨もやみ、ゲームを始めましたが天候はよくなり、せめて1ラウンドもってくれればと祈る思いでした。なんとか2ラウンド終わることができましたが、雨のためスコア表がびしょ濡れでスコアの確認をするスタッフはたいへんな思いをしたことと思います。

雨の降る中集まってくれた参加者の方々、朝早くから雨に濡れながら準備や片付けをしてくれたスタッフの皆さんの協力で無事終わることができました。ありがとうございます。

来年は晴れの中みんなが楽しく試合ができたらいいなと思っております。

次の方々が成績優秀者として表彰（賞状、メダル、副賞）されました。

優 勝	佐野マモル	大岩1区
準優勝	望月 利浩	小泉4区
第3位	諸星 芳男	杉田5区



参加者の声

- ・私は孫と参加した人と一緒に組で廻りましたが、祖母の指導で一生懸命プレーする姿に”ほっこり”としながらプレーを楽しみました。（女性）
- ・雨に濡れたコースを読むのが難しかったが、いつもよりアンダースコアで廻れたので良かったです。（男性）



開会式



プレーの様子



プレーの様子



3位

優勝

準優勝

地域福祉推進計画中間会議の報告

本年度から7年度までの4年間、地域福祉推進計画が実施されることについては、前々号(第45号)でお知らせいたしました。その具体的な推進のために5/17にキックオフ会議、10/17には中間会議が開かれました。

中間会議ではキックオフ会議で検討された諸課題に対して、改めて課題の優先順位について真剣に検討した結果、今年度は生活支援を優先課題として取り組んでいこうということになりました。以下は中間会議で話し合われた内容です。(丸山 孝)



①課題の優先順位 ・調査に基づいて不安に対する対応策を検討する。	⑤取り組み(事業)内容(予定) ・移動支援と軽微な生活支援をセット
②今年度取り組む課題(1つ選ぶ) ・生活支援	⑥メンバー ・地域住民の中からサポーターを募る。
③取り組む目的 ・高齢化が進んでいく中で、高齢者世帯の生活課題を把握し、対応する。	⑦スケジュール・予定 ・地域社協のネットワーク委員会で各区の福祉会に説明し、意見をもらう。
④取り組みの効果 ・1日でも長く自分の暮らす地域で生活できる。	⑧活用ツール(モノ)(カネ)

来迎寺カフェと出張商店街がコラボ開催 富士根南・根北地区協議体

8月28日(日)来迎寺(大岩1区)で、多くの地域住民が集い開催されました。

毎月「来迎寺カフェ」を開催している岩田照賢住職による「心の糧」についての青空説法で始まりました。

本堂内では富士根南地区の子育てサロン・寄り合い処や地区社協の活動ポスターセッションや展示品がならび、富士根地域包括支援センターによる認知症の相談コーナーも設けられました。境内では、富士宮食のひらめき会による買い物の一助として出張商店街が来店されました。来場者は日用雑貨を買い求め、相談コーナーに立ち寄り、周りの人たちと談笑し、境内に流れるギターの生演奏に聞き入ったりと、それぞれに楽しい一時を過ごしていました。(深澤 勇)



住職の説法



出張商店街



カフェの様子

スポーツ推進委員について 代表 後藤 守

1961年スポーツ振興法により体育指導委員が始まりました。スポーツ振興の為に指導、助言を役割としていました。それに加えスポーツ事業の実施に係る連絡調整の役割が重要視され、2011年スポーツ基本法が制定され、スポーツ推進委員に名称変更しました。

スポーツ推進委員は市町村教育委員会が委嘱する非常勤公務員です。

1. 各地域における健康づくりのためのスポーツ活動の実施
2. 軽スポーツの普及、スポーツ教室等の開催
3. 市主催の各種スポーツ大会への参画等

地域体育部等の運営及び活動、あるいは学校体育施設を有効利用するための指導助言にあたるなど、地域スポーツの充実発展に貢献する。

県関連の年間活動としては、県スポーツ推進委員会の実技研修会と研究大会、富士、富士宮の研修会、東海4県研究大会等があります。

市関連は新体力テスト、市民レクスポ祭、市民ゆっくりマラソン、市スポーツ教室（ボッチャ教室）の企画運営。各学区の健康づくり推進事業、夜間学校体育施設利用のための抽選会、軽スポーツ等の指導者派遣、富士宮駅伝のボランティア活動の取りまとめ。組織に研修部、地域推進部、軽スポーツ部の専門部がありそれぞれに活動し、全体として年8回の協議会（実技含む）などがあります。

スポーツ関連の市と地域との連絡役を担っていますので、相談をしてくださればと思います。



ボッチャ

みのりシニアクラブ

小泉6区 会長 長谷川 幸雄

毎月の定例会は、第1水曜日に20名前後が参加して9時30分から開催、前月の活動報告、今月の協議案内を報告し質疑応答終了後、月替わりで 脳トレ、計算・漢字問題、輪投げ、童謡合唱などを行い、頭を使い、身体を動かし、声を出して衰え防止に努めています。

月曜日、水曜日の13時から14時30分まで親睦と軽運動を目的にグラウンドゴルフを楽しんでいます。そして向原八幡宮境内の清掃を町内交互に実施、区の行事5回にも参加し手伝いをします。それから毎年10月開催の幼稚園児から小学校6年までの子供達と一緒に童謡を歌うステージ（宮あつホーム）に10年連続で出演しています。富士山シニアクラブの活動にも参加しています。

顧問；由良 弘文 会員；60歳代～90歳代



宮あつホーム10/15
プチミュージカルみのりシニア 令和4年10月15日

寄り合い処『幸せの泉』

小泉2区 代表 高橋 明美

開催日：第1木曜日 13:30～

・時間を短縮して開催

会 場：小泉2区区民館

コロナのため昨年7月から今年9月までお休みをし、10月から再開しました。

寄り合い処も今年で17年です。毎回14～15名の参加がありますがほとんどが女性です。以前には長谷川公子先生のピアノ伴奏で歌を唄ったり体操なども行っていました。それがコロナでできなくなり「塗り絵」や「点つなぎ」など頭の体操になるような催しを多く取り入れています。

参加した方は「ご近所の方でも顔を合わせる事が少なく、ここで話ができるのを楽しみにしています」と話していました。

(斎藤 富夫)



塗り絵